

「里地里山保全・再生に向けた特徴的取組アンケート」結果の概要

◆回答の状況

・2月20日現在の回答状況は表のとおり。

(注) 同じ場所での取組事例でも回答者が異なるものは、それぞれ1件とカウントした。

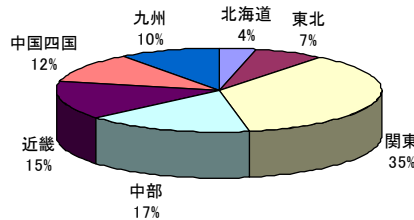
依頼先別回答状況

種別	依頼先数	回答数	うち「該当あり」回答数	事例件数
都道府県	(47×5) 235	68	39	68
市町村	1,782	435	255	368
専門家	93	15	14	26
関係省庁	5	3	3	43
合計	2,115	521	311	505

1. 取組の地域的分布

(1) 所在地の都道府県、地方ブロック

・関東ブロック(新潟、山梨、静岡の各県を含む)での取組が多い。
 ・上位10都道府県で全体の45%を占める。

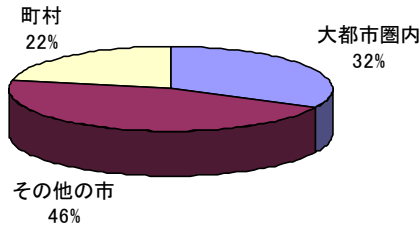


事例数の多い都道府県 (20位まで)

順位	都道府県名	事例数	%	備考
1	愛知県	34	6.7	
2	千葉県	25	5.0	
3	埼玉県	24	4.8	
3	静岡県	24	4.8	
5	大阪府	22	4.4	
6	茨城県	21	4.2	
6	東京都	21	4.2	
8	北海道	18	3.6	
8	群馬県	18	3.6	10位までの小計
8	神奈川県	18	3.6	225 44.6%)
11	新潟県	17	3.4	
12	岐阜県	15	3.0	
13	広島県	14	2.8	
13	福岡県	14	2.8	
15	岩手県	13	2.6	
15	富山県	13	2.6	
15	滋賀県	13	2.6	
15	兵庫県	13	2.6	
19	京都府	11	2.2	20位までの小計
20	愛媛県	10	2.0	358 70.9%)
	全国合計	505	100.0	

(2) 都市との関係

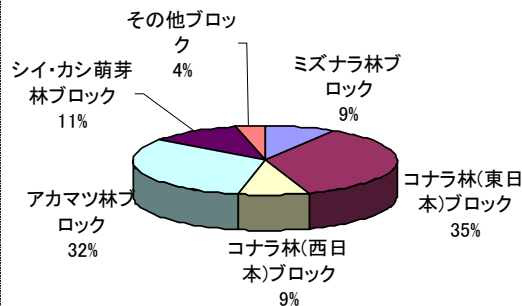
・大都市圏内での取組が32%を占める。



*「大都市圏内」とは、三大都市圏内とその他の政令指定市内にある里地里山を指す。

(3) 二次林種別による里地里山ブロック区分

・コナラ林(東日本)、アカマツ林ブロックに多い。



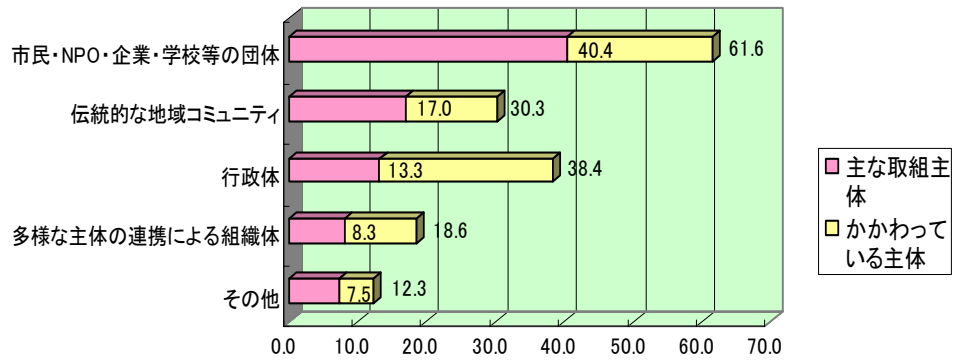
2. 特徴的な取組が行われている場所の特性

<p>(1) 里地里山を構成する環境要素</p> <p>・二次林のある里地里山が60%を超え、かつ二次林主体(面積最大)の場所が多いが、水田主体の場所も15%。</p> <p>・池沼・湿地やため池を含む里地里山がそれぞれ20%を超える。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>環境要素</th> <th>最大面積の環境要素 (%)</th> <th>含まれる環境要素 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>二次林</td><td>35.0</td><td>61.0</td></tr> <tr><td>水田</td><td>15.2</td><td>44.2</td></tr> <tr><td>人工林</td><td>10.3</td><td>44.6</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6.1</td><td>23.0</td></tr> <tr><td>池沼・湿地</td><td>5.7</td><td>24.2</td></tr> <tr><td>草地</td><td>5.0</td><td>26.7</td></tr> <tr><td>畑</td><td>2.8</td><td>31.1</td></tr> <tr><td>ため池</td><td>1.4</td><td>21.2</td></tr> <tr><td>小川・水路</td><td>1.4</td><td>44.2</td></tr> <tr><td>社寺林</td><td>0.8</td><td>12.7</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)「面積最大の環境要素」が不明の回答は除外。</p>	環境要素	最大面積の環境要素 (%)	含まれる環境要素 (%)	二次林	35.0	61.0	水田	15.2	44.2	人工林	10.3	44.6	その他	6.1	23.0	池沼・湿地	5.7	24.2	草地	5.0	26.7	畑	2.8	31.1	ため池	1.4	21.2	小川・水路	1.4	44.2	社寺林	0.8	12.7
環境要素	最大面積の環境要素 (%)	含まれる環境要素 (%)																																
二次林	35.0	61.0																																
水田	15.2	44.2																																
人工林	10.3	44.6																																
その他	6.1	23.0																																
池沼・湿地	5.7	24.2																																
草地	5.0	26.7																																
畑	2.8	31.1																																
ため池	1.4	21.2																																
小川・水路	1.4	44.2																																
社寺林	0.8	12.7																																
<p>(2) 地形条件</p> <p>・丘陵・台地にある里地里山が半数以上を占める。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地形条件</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>丘陵・台地</td><td>55%</td></tr> <tr><td>山地</td><td>16%</td></tr> <tr><td>低地</td><td>22%</td></tr> <tr><td>山麓部</td><td>3%</td></tr> <tr><td>不明</td><td>3%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1%</td></tr> </tbody> </table>	地形条件	割合 (%)	丘陵・台地	55%	山地	16%	低地	22%	山麓部	3%	不明	3%	その他	1%																			
地形条件	割合 (%)																																	
丘陵・台地	55%																																	
山地	16%																																	
低地	22%																																	
山麓部	3%																																	
不明	3%																																	
その他	1%																																	
<p>(3) 地域指定等</p> <p>・保安林が19%、自然公園指定を受けている場所も20%。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域指定等</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保安林</td><td>19.2</td></tr> <tr><td>国定公園</td><td>7.9</td></tr> <tr><td>都道府県立自然公園</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>鳥獣保護区の特別保護地区</td><td>6.1</td></tr> <tr><td>国立公園</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>緑地保全地域・緑地保全地区</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>生息地保護区(種の保存法)</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>国営公園</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>その他の指定等</td><td>15.6</td></tr> </tbody> </table>	地域指定等	割合 (%)	保安林	19.2	国定公園	7.9	都道府県立自然公園	7.5	鳥獣保護区の特別保護地区	6.1	国立公園	4.6	緑地保全地域・緑地保全地区	4.2	生息地保護区(種の保存法)	1.4	国営公園	0.2	その他の指定等	15.6													
地域指定等	割合 (%)																																	
保安林	19.2																																	
国定公園	7.9																																	
都道府県立自然公園	7.5																																	
鳥獣保護区の特別保護地区	6.1																																	
国立公園	4.6																																	
緑地保全地域・緑地保全地区	4.2																																	
生息地保護区(種の保存法)	1.4																																	
国営公園	0.2																																	
その他の指定等	15.6																																	
<p>行政による評価等</p> <p>・日本の棚田百選、重要湿地、名水百選などに選ばれた場所が含まれている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行政による評価等</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>日本の棚田100選</td><td>27</td></tr> <tr><td>重要湿地500</td><td>25</td></tr> <tr><td>名水百選</td><td>21</td></tr> <tr><td>重要文化的景観地域</td><td>12</td></tr> <tr><td>特定植物群落</td><td>12</td></tr> <tr><td>農村景観100選</td><td>10</td></tr> <tr><td>重要有形・無形民俗文化財(国)</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	行政による評価等	件数	日本の棚田100選	27	重要湿地500	25	名水百選	21	重要文化的景観地域	12	特定植物群落	12	農村景観100選	10	重要有形・無形民俗文化財(国)	8																	
行政による評価等	件数																																	
日本の棚田100選	27																																	
重要湿地500	25																																	
名水百選	21																																	
重要文化的景観地域	12																																	
特定植物群落	12																																	
農村景観100選	10																																	
重要有形・無形民俗文化財(国)	8																																	

3. 取組の主体

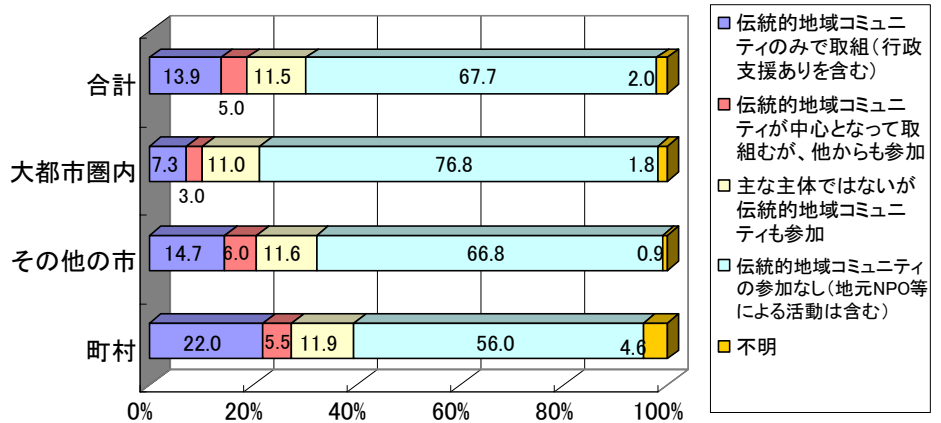
(1) 主体からみた取組状況

・市民・NPO・企業・学校等の関わる取組が62%、それらが中心になっている取組が40%を占め、伝統的な地域コミュニティによる取組を上回る。
 ・行政が関与する事例も多い。



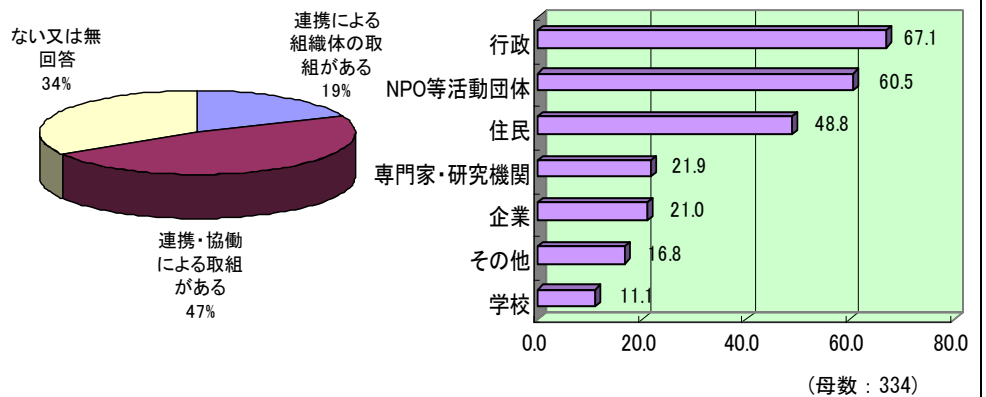
伝統的な地域コミュニティの関わり

・伝統的地域コミュニティの関わりのある取組が30% (上図のとおり)、単独又は伝統的地域コミュニティが中心となっている取組は全体で19%。
 ・都市との関係で見ると、町村部では伝統的地域コミュニティが中心に関わるケースが28%と大都市圏内(10%)に比べて多い。



(2) 連携・協力による取組

・連携・協力による取組が見られる事例が66%、そのうち連携組織による取組があるものが19%ある。
 ・その場合に関わる主体は、行政及びNPO等活動団体が多いが、専門家や企業の参加も2割程度見られる。



4. 取組の目的・内容

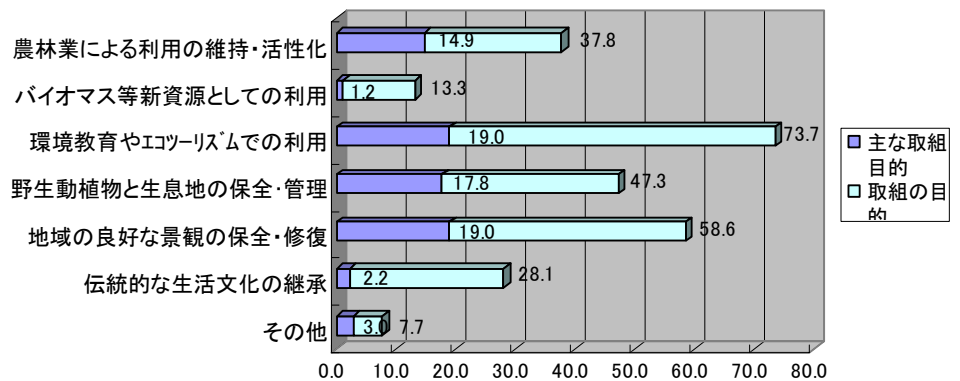
(1) 取組目的

・農林業、バイオマス等自然資源の利用・管理を主目的とする取組は、計16%、それを目的の一つとする取組を合わせると計51%。

・環境教育等の場としての利用は、74%の事例で行われている。なおその活動内容としては、自然観察会、環境教育が多いが、体験型活動や環境保全活動も多い。

・野生動植物と生息地保全・管理を主目的とする取組は18%、それを目的の一つとするものを合わせると48%となる。

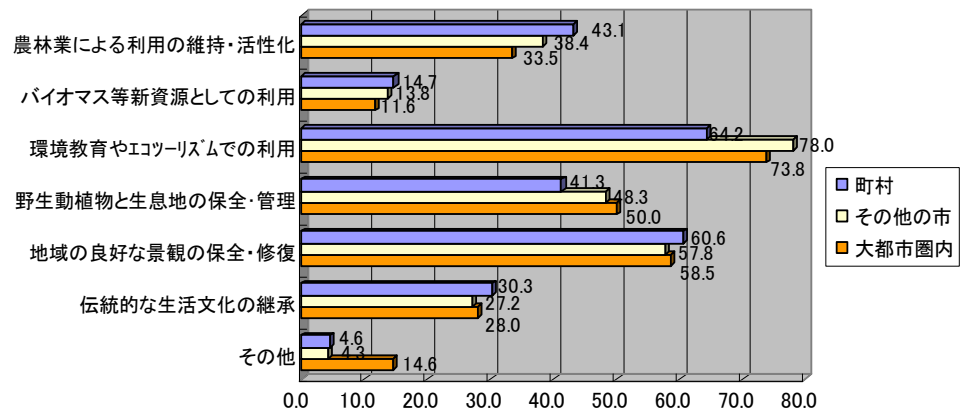
・いずれの取組の場合も、主目的のほか複合的な目的の下での取組が多い。



(3) 都市との関係による取組目的の違い

・「環境教育やエコツアーリズムでの利用」、「地域の良好な景観の保全・修復」の取組が多いなど、全体の傾向は類似している。

・町村では大都市圏と比較すると「農林業による利用の維持・活性化」の割合が高くなり、「環境教育やエコツアーリズムでの利用」の割合が低くなる。



5. 取組主体と取組目的

(1) 主な取組主体別にみた 主な取組目的

・「伝統的な地域コミュニティ」による取組の場合、「農林業による利用の維持・活性化」、又は「地域の良好な景観の保全・修復」を主目的とする事例が多い。

・「市民・NPO・企業・学校等の団体」による取組では、「環境教育やエコリズムでの利用」、「野生動植物と生息地の保全・管理」を主目的とする事例が多い。

	合計	主な取組目的									
		不明を除く合計	農林業による利用の維持・活性化	バイオマス等新資源としての利用	環境教育やエコリズムでの利用	野生動植物と生息地の保全・管理	地域の良好な景観の保全・修復	伝統的な生活文化の継承	その他	不明	
全体	505	389	75	6	96	90	96	11	15	116	
	100.0	100.0	19.3	1.5	24.7	23.1	24.7	2.8	3.9		
主な取組主体(不明を除く)	伝統的な地域コミュニティ	86	70	24	0	9	9	25	1	2	16
		100.0	34.3	0.0	12.9	12.9	35.7	1.4	2.9		
	市民・NPO・企業・学校等の団体	204	172	28	1	53	49	30	5	6	32
		100.0	16.3	0.6	30.8	28.5	17.4	2.9	3.5		
	行政体	67	54	9	1	14	11	16	1	2	13
	100.0	16.7	1.9	25.9	20.4	29.6	1.9	3.7			
多様な主体の連携による組織体	42	38	7	1	6	9	9	2	4	4	
	100.0	18.4	2.6	15.8	23.7	23.7	5.3	10.5			
その他	38	28	4	0	5	5	11	2	1	10	
	100.0	14.3	0.0	17.9	17.9	39.3	7.1	3.6			

(上段)：件数、下段：%

- 取組主体の中で全体平均より割合の高い取組目的
- 上記にあてはまり、かつ全体の中で件数の多いもの
- 取組主体の中で割合は相対的に低い但し全体の中で件数の多いもの

(2) 伝統的地域コミュニティのかかわり方から見た 主な取組目的の違い

・伝統的地域コミュニティだけで取り組む場合、「地域の良好な景観の保全・修復」のウェイトが大きく、地域コミュニティ以外からの参加を得た場合は「農林業による利用の維持・活性化」を主目的とする取組が多い。

